

令和3年度子育て世帯タウンミーティング

(伊東市PTA連絡協議会) 意見一覧

- ① ITの取り組みについて【市P連】
- ② 子育て、教育への予算の拡充について①【池小学校】
(スクールバス等の充実について)
- ③ 子育て、教育への予算の拡充について②【池小学校】
(学童や保育園に係る費用に対する補助の拡充について)
- ④ 子育て、教育への予算の拡充について③【池小学校】
(遊び場の充実について)
- ⑤ 小中学校の専門教科について【北中学校】

令和3年度子育てタウンミーティング（市P連）における意見及び回答

意 見	区	子育て世帯-①
ITの取り組みについて【市P連】		
<p>風光明媚で美食に富んだ「伊豆」というコンテンツは、インターネットの活用によりまだまだ発展の余地が残されていると思います。この貴重な資源の活用はGIGAスクール構想の導入により若い世代にもポジティブに受け止められ、新たな雇用形態の創出や県外からの人口流入にも繋がるものと期待しています。</p> <p>地域活性化に向けたIT活用への取り組みに対し、市としてどのような計画をお持ちでしょうか。</p> <p>現在特にビジョンをお持ちでなければ、観光地として効果的なIT・webの活用に長期的な戦略として力を入れてほしいです。</p>		
回 答	担当課	観光課
<p>“地域活性化”につながるものとして、観光施策におけるITへの取り組みの現状と今後の計画についてご説明させていただきます。</p> <p>本市では、より多くの国内外の方々に本市の魅力を伝えるために、令和元年度からデジタルマーケティングの手法を用いたプロモーションを実施しており、継続して配信することで得たデータにより、本市への来訪の可能性が高い地域を絞り込むとともに、その地域で反応の良かった方の性別や年齢、趣味趣向等を把握し、より効率的な情報発信が行えるよう取り組んでおります。</p> <p>また、今年度から主要な観光スポットをGoogleマイビジネスに登録することにより、動画を視聴したお客様がどのスポットにどれくらいお越しいただいているかの可視化にも取り組んでおります。</p> <p>今後の計画としましては、デジタル技術を活用した情報発信を継続するとともに、すでに世界中のほとんどの方が認知しているプラットフォームであるGoogle等での検索利便性を上げていくための施策を進めてまいります。</p>		

令和3年度子育てタウンミーティング（市P連）における意見及び回答

意見	区	子育て世帯-②
<p>子育て、教育への予算の拡充について①【池小学校】</p>		
<p>首都圏から移住を検討する方が必ず地方に求めるものが教育と医療になります。教育や子育て支援が充実している自治体は移住への魅力を高めることに繋がり、将来的に市を支える世代の流入にも繋がると考えます。そのため、子育て、教育への先行した予算拡充をお願いしたいです。具体的には次の3点の事項が必要と考えます。</p> <p>共働き家庭も増えている中での児童、生徒の送り迎えは大きな負担であり、スクールバス等の充実が必要です。(高齢者の移動、観光客の移動等を共有できる仕組みにより持続可能な運用ができる交通手段の確立)</p>		
回答	担当課	教育指導課
<p>池小学校は小規模特認校であり、教育活動の趣旨や入学の条件に賛同した方が池小学校の学区外であっても入学することができます。</p> <p>入学の条件の一つとして、通学については保護者様にお願いしているところですが、送迎の負担軽減を目的とした伊東市全域におけるスクールバスの導入については、必要な経費負担や地域内の実情に合わせた効果などについて研究してまいります。</p>		

令和3年度子育てタウンミーティング（市P連）における意見及び回答

意見	区	子育て世帯-③
<p>子育て、教育への予算の拡充について②【池小学校】</p>		
<p>学童や保育園に係る費用に対する補助を拡充してほしいです。同じ施設に通う兄弟の数で減額措置はありますが、別の施設に通う場合適用されないため、子育てする子供の数で補助をするような制度にしてほしいです。</p>		
回答	担当課	幼児教育課
<p>保育園の保育料については、国の幼児教育無償化制度により、3歳～5歳児の保育料は完全無償となっており、保育料以外の更なる負担軽減については、今後の国の制度を注視してまいります。</p> <p>また、子育てするお子さんの人数に応じた支援制度として、現在対応している内容としましては、保育園の保育料の中では国の制度において、年収約360万円未満相当世帯には、<u>第1子の年齢にかかわらず</u>、第2子の保育料が半額、第3子以降は無償となっており、子育て世帯の負担軽減を図っているところです。</p> <p>なお、放課後児童クラブについても、クラブによっては「きょうだい割引」等を設けているところもありますが、市としましては、各クラブの料金設定やサービス内容について、市内の放課後児童クラブ全体で情報共有を図る場を設定するなど、保護者が利用しやすいクラブに向けた取組を支援しているところです。</p>		

令和3年度子育てタウンミーティング（市P連）における意見及び回答

意見	区	子育て世帯-④
<p>子育て、教育への予算の拡充について③【池小学校】</p>		
<p>遊び場を充実させてほしいです。大きな施設ではなく、空地や空家を有効活用するなどして、子供達が安心して遊べる公園等の施設を色々な場所に整備してほしいです。</p>		
回答	担当課	秘書課
<p>子どもたちが利用できる既存の施設としまして、都市公園や児童館、生涯学習センターなどの施設がありますが、これらの施設を維持していくだけでも相当の費用がかかり、小規模な施設といえど、新たな施設の設置は慎重に検討する必要があります。</p> <p>しかしながら、子どもたちの成長における“遊び”の重要性は十分に認識していることから、例えば、地域で独自に遊具等を整備している事例や、遊び場づくりや交流イベント等を実施している団体等がありますので、そのような取り組みに対して補助金を出すなどの支援を行うことで、地域全体で子どもたちを育み、見守る環境づくりを推進してまいります。</p> <p>皆様におかれましても、そのような取り組みへのご参加やご協力をお願いいたします。</p>		

令和3年度子育てタウンミーティング（市P連）における意見及び回答

意見	区	子育て世帯-⑤
<p>小中学校の専門教科について【北中学校】</p>		
<p>小中学校の専門教科（図工、書写、音楽、技術、家庭科）が専門分野の教諭でなくても担任ができるのは、専門分野の教育レベルが低下する原因になるのではないかと思いますので、改善してほしいです。</p>		
回答	担当課	教育指導課
<p>教育委員会では、各種学校、各教科の指導に必要な教員を計画的に採用し、適正に配置するよう努めております。</p> <p>一方で、教員の配置人数は、公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律によって、児童生徒数に基づいて決定されることになっており、児童生徒数の減少により、小規模校や単学級の学校においては、専門教科の教員を配置できないことがあります。</p> <p>そのため、特に中学校においては、取りうる手段をつくしても、特定教科の免許状を保有する教員が採用できない場合に、免許外の教員が担当せざる得ない状況が発生しており、このような場合、例えば、当該免許を有する教員が在籍する近隣校と連携する等の支援が必要であると考えております。</p> <p>また、県に対しては、学校の小規模化が進む本市の実情を説明し、免許外解消非常勤講師の任用、措置要件の緩和及び複数免許を持つ教員の配置を強く求めてまいります。</p>		